

令和2年度第1回 多摩市男女平等参画推進審議会 要点録

開催日時：令和2年8月3日（月曜） 16：30～18：30

場 所：関戸公民館 創作室

出席委員：広岡守穂委員、木本喜美子委員、岡村隆広委員、神子島健委員、神山直子委員、
堤香苗委員、藤江美也子委員、真野文恵委員（会長・副会長以下50音順）

欠席委員：なし

事務局：阿部市長、須田くらしと文化部長、河島課長、西担当主査、吉田主事

傍聴者：なし

（発言者凡例：◎会長、○委員、◇事務局）

次 第

1 開会

2 会議運営に関する事項の確認について

資料1 会議運営に関する事項の確認

資料2 傍聴者アンケート

◇多摩市男女平等参画推進審議会の会議運営に関する事項について、事務局から説明し確認した。

3 委嘱状の交付

◇委員8名に委嘱状を交付した。

4 市長挨拶

◇市長から挨拶を行った。

5 委員自己紹介

資料3 委員名簿

◇各委員の自己紹介を行った。

6 会長及び副会長の選任

資料4 多摩市女と男の平等参画を推進する条例施行規則

◇会長に広岡守穂委員、副会長に木本喜美子委員を選出した。

7 多摩市女と男の平等参画を推進する条例について

◇多摩市女と男の平等参画を推進する条例について、事務局から説明した。

8 第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画策定方針について（報告）

資料5 第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画策定方針

◇第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画策定方針について、事務局から説明した。

9 諮問（第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画策定の審議について）

◇市長から会長に諮問し、諮問書を手渡した。

10 令和元年度多摩市民・市職員意識及び実態調査の結果速報について（報告）

資料6 市民意識及び実態調査結果速報

資料7 市職員意識及び実態調査結果速報

◇令和元年度多摩市民・市職員意識及び実態調査の結果速報について、事務局から説明した。

◎DVに関する質問は、男女別でも集計した方が良いのではないか。

11 議題

(1)「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」の基本目標について

資料8 市民ワークショップ意見交換内容（抜粋）

資料9 第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画 基本目標（案）

資料10 第3次多摩市女と男がともに生きる行動計画（H23～R2）推進状況一覧表

◇「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」の基本目標について、事務局から説明した。新型コロナウイルス感染症対策のため、この場では簡単にご意見をいただき、後日メールにて詳しく伺うこととする。

○新しい計画期間は、団塊の世代が後期高齢者になってくる時期である。多摩市の特徴であるニュータウンはオールドタウンとも言われることがある。まずはこの高齢者を男女関係なく地域で支えていく必要がある。

○世代を超えた交流についてポイントを置くとインパクトがあり、多摩市の実態に合った計画になるのではないか。

○【資料9】基本目標（案）を現行の基本目標と比較できる形で示してほしい。

○コロナの影響で人々の働き方や考え方は変化し、新しいものになってきている。一方で、昼夜問わずメールが届いたりするなど、オンとオフの区別がつかず、働き方改革から逆行した部分もある。

○若者のSNSの利用などについて考えていきたい。

○コロナの社会への影響は計画にも入れた方が良いのかもしれない。

○オンラインで仕事ができないエッセンシャルワーカーの働き方についても考えていきたい。

○コロナの影響により女性へのしわ寄せも浮き彫りとなった。改めてこのような問題（固定的な性別役割分業など）について目を向けることが大事なのではないか。

◎社会情勢に沿った、話題性や実効性のある計画にしたい。

- ◎推進状況の測り方や仕組み等も検討していかなくてはならない。
- DV防止法の基本計画として位置付ける部分では、コロナの影響によるDVや離婚の増加に対する取組み等について考えていきたい。
- 市民意識調査の結果から、市のことについて知らない市民が多いと感じた。今後SNS等を活用して、市の取組み等を周知できないか。
- 男女平等に生活することが当たり前の多摩市を次世代につなげ、もっと若い人に住んでもらえるようなまちにしたい。

12 その他

- ◇次回以降の審議会の開催形式については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、オンライン会議や書面会議など別の方法も検討する。

13 閉会